

大学番号 私立247

注3

設置年度 令和 3年度  
計画の区分： 学部の設置  
注1

**認可**

園田学園女子大学 経営学部

注2

## 【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人園田学園  
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営学部事務室

職名・氏名

電話番号 06-6429-9086

（夜間） 06-6429-1201

e-mail [noda@sonoda-u.ac.jp](mailto:noda@sonoda-u.ac.jp)

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・大学の設置の場合：「〇〇大学」  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

経営学部

<ビジネス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人園田学園

## (2) 大学名

園田学園女子大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒661-8520

兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サイトウ ヨシカズ) 齊藤 悦一 (平成29年8月)		
学長	(カワシマ アキコ) 川島 明子 (平成27年4月)		
学部長	(カワラダ タカシ) 瓦田 太賀四 (令和3年4月)		
学科長等	(オカモト ヒサユキ) 岡本 久之 (令和3年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)  
令和3年度に報告する内容 → (3)  
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。  
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 ビジネス学科 学士（経営学）	経済学関係	4年	120人	年次人	480人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」）の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	120 ( ) [ ]	0.18倍	-								
志願者数	- ( ) [ ]	130 ( ) [ ]	- ( ) [ ]										
受験者数	- ( ) [ ]	106 ( ) [ ]	- ( ) [ ]										
合格者数	- ( ) [ ]	78 ( ) [ ]	- ( ) [ ]										
B 入学者数	- ( ) [ ]	22 ( ) [ ]	- ( ) [ ]										
入学定員超過率 B/A	-		-		-		-		0.18				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期									
1年次	- [ - ] ( - )	22 [ - ]	- [ - ]								
2年次	/		- [ - ] ( - )								
3年次			/		- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )					
4年次	/				- [ - ] ( - )	- [ - ] ( - )					
計			- [ - ] ( - )	22 [ - ] ( - )							

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	22人	0人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 ビジネス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹	女性と社会	1後	2			1						兼1
	大学の社会貢献	1前・後	2			2						兼1共同
	生命を考える	1前	2			1						兼8才ムニバス
	つながりプロジェクト	2前	2			3						兼21
	小計(4科目)	—	4	4	0	3	0	0	0	0		
人文科学	文学を楽しむ	1前	2									兼1
	芸能を楽しむ	1後	2									兼1
	世界の宗教	1前	2									兼1
	哲学入門	1後	2									兼1
	地域文化論	1後	2		1			1				共同
	歴史学入門	1後	2									兼1
	美術史	1前	2									兼1
	小計(7科目)	—	0	14	0	1	0	0	1	0		
社会科学	現代社会を読み解く	1前	2			1						
	生活と経済	1前	2									兼1
	生活と法律	1前	2									兼1
	日本国憲法	1前・後	2									兼1
	環境問題を考える	1後	2									兼1
	小計(5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0		
自然科学	生き物の世界	1後	2									兼1
	暮らしの中の数学	1前	2									兼1
	身体のしくみと医学	1前	2									兼1
	食品と環境	1後	2									兼1
	宇宙と地球の歴史	1前	2									兼1
	人工知能のしくみ	1後	2		1							
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0		
大学共通科目	国際情勢	1前	2									兼1
	アジアの文化と社会	1前	2									兼1
	オセアニアの文化と社会	1前	2									兼1
	実践英語基礎Ⅰ	1前	1									兼1
	実践英語基礎Ⅱ	1後	1									兼1
	実践英語応用Ⅰ	1前	1									兼1
	実践英語応用Ⅱ	1後	1									兼1
	英会話(1)	1前	1									兼1
	英会話(2)	1後	1									兼1
	SCCセミナー(1)	1前・後	2									兼1
	SCCセミナー(2)	1前・後	2									兼1
	海外研修	1通	4									兼2
	中国語(1)	1前	1									兼1
	中国語(2)	1後	1									兼1
	ハングル(1)	1前	1									兼1
	ハングル(2)	1後	1									兼1
	小計(16科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0		
eラーニング	インターネットセミナーⅠ	1前・後	2			1						
	インターネットセミナーⅡ	1前・後	2			1						
	インターネットセミナーⅢ	1前・後	2									兼1
	インターネットセミナーⅣ	1前・後	2									兼1
		小計(4科目)	—	0	8	0	2	0	0	0	0	
基礎	初年次演習Ⅰ	1前	1			1						兼2
	初年次演習Ⅱ	1後	1			1						兼2
	日本語表現Ⅰ	1前	1									兼4
	日本語表現Ⅱ	1後	1									兼4
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼5
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼5
	基礎情報処理(1)	1前	1									兼3
	基礎情報処理(2)	1後	1									兼3
	スポーツ	1前・後	1									兼3
	体育論	1前・後	2									兼1
	小計(10科目)	—	8	3	0	1	0	0	0	0		
認定科目	ボランティア	1前			1							兼1
	実践キャリアプランニング	2前			1							兼1
	インターンシップ	1前			1							兼1
		小計(3科目)	—	0	0	3	0	0	0	0	0	

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基幹	女性と社会	1後	2			1						兼2
	大学の社会貢献	1前・後	2			2						兼1共同
	生命を考える	1前	2			1						兼8才ムニバス
	つながりプロジェクト	2前	2			3						兼20
	小計(4科目)	—	4	4	0	3	0	0	0	0		
人文科学	文学を楽しむ	1前	2									兼1
	芸能を楽しむ	1後	2									兼1
	世界の宗教	1前	2									兼1
	哲学入門	1後	2									兼1
	地域文化論	1後	2		1			1				共同
	歴史学入門	1後	2									兼1
	美術史	1前	2									兼1
	小計(7科目)	—	0	14	0	1	0	0	1	0		
社会科学	現代社会を読み解く	1前	2			1						
	生活と経済	1前	2									兼1
	生活と法律	1前	2									兼1
	日本国憲法	1前・後	2									兼1
	環境問題を考える	1後	2									兼1
	小計(5科目)	—	0	10	0	1	0	0	0	0		
自然科学	生き物の世界	1後	2									兼1
	暮らしの中の数学	1前	2									兼1
	身体のしくみと医学	1前	2									兼1
	食品と環境	1後	2									兼1
	宇宙と地球の歴史	1前	2									兼1
	人工知能のしくみ	1後	2		1							
	小計(6科目)	—	0	12	0	1	0	0	0	0		
大学共通科目	国際情勢	1前	2									兼1
	アジアの文化と社会	1前	2									兼1
	オセアニアの文化と社会	1前	2									兼1
	実践英語基礎Ⅰ	1前	1									兼1
	実践英語基礎Ⅱ	1後	1									兼1
	実践英語応用Ⅰ	1前	1									兼1
	実践英語応用Ⅱ	1後	1									兼1
	英会話(1)	1前	1									兼1
	英会話(2)	1後	1									兼1
	SCCセミナー(1)	1前・後	2									兼1
	SCCセミナー(2)	1前・後	2									兼1
	海外研修	1通	4									兼2
	中国語(1)	1前	1									兼1
	中国語(2)	1後	1									兼1
	ハングル(1)	1前	1									兼1
	ハングル(2)	1後	1									兼1
	小計(16科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0		
eラーニング	インターネットセミナーⅠ	1前・後	2			1						
	インターネットセミナーⅡ	1前・後	2			1						
	インターネットセミナーⅢ	1前・後	2									兼1
	インターネットセミナーⅣ	1前・後	2									兼1
		小計(4科目)	—	0	8	0	2	0	0	0	0	
基礎	初年次演習Ⅰ	1前	1			1						兼2
	初年次演習Ⅱ	1後	1			1						兼2
	日本語表現Ⅰ	1前	1									兼5
	日本語表現Ⅱ	1後	1									兼5
	英語コミュニケーションⅠ	1前	1									兼5
	英語コミュニケーションⅡ	1後	1									兼5
	基礎情報処理(1)	1前	1									兼3
	基礎情報処理(2)	1後	1									兼3
	スポーツ	1前・後	1									兼3
	体育論	1前・後	2									兼1
	小計(10科目)	—	8	3	0	1	0	0	0	0		
認定科目	ボランティア	1前			1							兼1
	実践キャリアプランニング	2前			1							兼1
	インターンシップ	1前			1							兼1
		小計(3科目)	—	0	0	3	0	0	0	0	0	



金融リテラシー	3・4前	2																		兼1
人的資源マネジメントⅡ	3・4後	2							1											
税務会計論Ⅱ	3・4後	2																		兼1
データ活用プログラミング(2)	3後	2			1															
ビジュアルプログラミング	4前	2			1															
経済統計分析論	3・4前	2																		兼1
産業・組織心理学	3・4後	2			1															
コーチングマネジメント論	4前	2																		兼1
行政法Ⅰ	3後	2																		兼1
行政法Ⅱ	4前	2																		兼1
特殊講義Ⅱ	3・4後	2																		兼2隔年交代
外書講読	3通	4			1	2			1											
研究演習	3通	4			8	3														
卒論演習	4通	4			8	3														
小計(36科目)	—	12	66	0	8	4	0	4	0											
合計(141科目)	—	34	233	3	9	4	0	4	0											
卒業要件及び履修方法																				
大学共通科目18単位以上(必修12単位、選択必修(「国際交流」のうち実践英語基礎Ⅰ・Ⅱ、実践英語応用Ⅰ・Ⅱ、英会話(1)・(2)、中国語(1)・(2)及びハングル(1)・(2)の10科目の中から4科目以上)4単位以上、選択2単位以上)																				
経営学部基礎科目26単位以上(必修8単位、選択必修(会計学入門、経営学入門及び経済学入門の3科目の中から2科目以上並びに左記以外の14科目の中から7科目以上)18単位以上)																				
ビジネス学科専門科目66単位以上(必修14単位、選択52単位以上)																				
その他「大学共通科目、経営学部基礎科目、ビジネス学科専門科目」の中から14単位以上【卒業要件単位】以上の履修により、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))																				

金融リテラシー	3・4前	2																		兼1
人的資源マネジメントⅡ	3・4後	2							1											
税務会計論Ⅱ	3・4後	2																		兼1
データ活用プログラミング(2)	3後	2			1															
ビジュアルプログラミング	4前	2			1															
経済統計分析論	3・4前	2																		兼1
産業・組織心理学	3・4後	2			1															
コーチングマネジメント論	4前	2																		兼1
行政法Ⅰ	3後	2																		兼1
行政法Ⅱ	4前	2																		兼1
特殊講義Ⅱ	3・4後	2																		兼2隔年交代
外書講読	3通	4			1	2			1											
研究演習	3通	4			8	3														
卒論演習	4通	4			8	3														
小計(36科目)	—	12	66	0	8	4	0	4	0											
合計(141科目)	—	34	233	3	9	4	0	4	0											
卒業要件及び履修方法																				
大学共通科目18単位以上(必修12単位、選択必修(「国際交流」のうち実践英語基礎Ⅰ・Ⅱ、実践英語応用Ⅰ・Ⅱ、英会話(1)・(2)、中国語(1)・(2)及びハングル(1)・(2)の10科目の中から4科目以上)4単位以上、選択2単位以上)																				
経営学部基礎科目26単位以上(必修8単位、選択必修(会計学入門、経営学入門及び経済学入門の3科目の中から2科目以上並びに左記以外の14科目の中から7科目以上)18単位以上)																				
ビジネス学科専門科目66単位以上(必修14単位、選択52単位以上)																				
その他「大学共通科目、経営学部基礎科目、ビジネス学科専門科目」の中から14単位以上【卒業要件単位】以上の履修により、124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:48単位(年間))																				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和3年度】**

・専任予定教員の就任辞退の理由により、「経営学入門」の開講時期を前期から後期に変更し、担当科目を追加することにより専任教員が担当予定。  
 ・担当教員見直し等により、「女性と社会」を兼任1から兼任2へ、「つながりプロジェクト」を兼任・兼任21から兼任・兼任21へ「日本語表現Ⅰ」及び「日本語表現Ⅱ」を兼任・兼任4から兼任・兼任5へそれぞれ変更

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	124 科目	0 科目	141 科目	17 科目 [ 0 ]	124 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	141 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
  - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{141} = \boxed{\phantom{00}} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	園田学園女子大学短期 大学部(必要面積2,900 ㎡)と共用		
	校舎敷地	0㎡	12,115.09㎡	0㎡	12,115.09㎡			
	運動場用地	0㎡	28,367.60㎡	0㎡	28,367.60㎡			
	小 計	0㎡	40,482.69㎡	0㎡	40,482.69㎡			
	そ の 他	0㎡	32,365.76㎡	0㎡	32,365.76㎡			
	合 計	0㎡	72,848.45㎡	0㎡	72,848.45㎡			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	園田学園女子大学短期 大学部(必要面積 2,850㎡)と共用			
	6,419.20㎡ (5,995.06㎡)	26,125.94㎡ (23,380.63㎡)	888.76㎡ (888.76㎡)	33,433.90㎡ (30,264.45㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	45室	30室	100室	5室 (補助職員 4人)	- 室 (補助職員 - 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			申請学科全体		
	経営学部ビジネス学科		17 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能 なため大学全体の数
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕				
	経営学部 ビジネス学科	308,000 [41,500] (304,954 [41,135])	3,076 [754] (2,641 [280])	1,825 [466] (1,491 [28])	15600 (15549)	15000 (14268)	- ( - )	
	計	308,000 [41,500] (304,954 [41,135])	3,076 [754] (2,641 [280])	1,825 [466] (1,491 [28])	15600 (15549)	15000 (14268)	- ( - )	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	2,177.33㎡		234	350000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	4,079.30㎡		ソフトボールグラウンド8,863.60㎡、 テニスコート4,234.50㎡					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	380千円	380千円	図書購入費	10,000千円	5,000千円	
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	3,000千円	11,323千円	2,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,260千円	960千円	960千円	960千円	- 千円	- 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学 の 名 称	園田学園女子大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
人間健康学部	4	255	3	1026	—	0.99	0.85			—	
総合健康学科	4	95	3	386	学士(健康学)	0.97	0.84	—	平成14年	兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29番1号	
人間看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.13	1.12	—	平成18年	同上	
食物栄養学科	4	80	—	320	学士(栄養学)	0.88	0.58	—	平成14年	同上	
人間教育学部	4	95	2	384	—	0.56	0.61			—	
児童教育学科	4	95	2	384	学士(教育学)	0.56	0.61	—	平成20年	兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29番1号	
経営学部	4	120	—	480	—	0.18	0.18			—	
ビジネス学科	4	120	—	480	学士(経営学)	0.18	0.18	—	令和3年	兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29番1号	
大学全体		470	5	1890		0.84	0.63				
大学 の 名 称	園田学園女子大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備 考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
生活文化学科	2	50	—	140	短期大学士(生活文化学)	1.14	1.00	—	昭和38年	兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29番1号	
幼児教育学科	2	95	—	215	短期大学士(教育学)	0.88	0.84	—	昭和43年	同上	
大学全体	—	145	—	355	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください  
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。  
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。  
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

## 5 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和2年)	<p>1. 本学の教育目的等に照らして必要となる基礎的な知識の涵養(かんよう)に係る教育をより充実させるため、選択科目となっている「経営学入門」の必修化を検討するとともに、財務管理や管理会計、金融・ファイナンスに係る教育内容のさらなる充実を図ることが望ましい。</p> <p>(助言事項)</p> <p>2. 「基礎演習」について、事前・事後の学修も含めた一体的な教育及び指導を適切に行うことにより、授業計画の最後に予定されている海外ゼミ合宿の学修効果を一層高め、本科目の意義・目的の確実な達成に努めることが望ましい。</p>	<p>1. 科目の充実について引き続き検討する。</p> <p>2. コロナ禍における海外ゼミ合宿について検討中</p> <p>履行中</p>	<p>同左</p> <p>2. 新型コロナの終息状況等を踏まえながら、引き続き海外ゼミ合宿について検討する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘**を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <経営学部 ビジネス学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
図書 303,929冊（開設時R3.4.1 大学全体）ほか	304,954冊へ増冊ほか

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

【園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部FD委員会】

平成20年4月にFD活動の運営及び今後あるべき方向を検討するため設置。委員は、教学支援部長、学科選出教育職員各1名、及び学長の指名する者若干名で構成。（令和3年度は9人）

【園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部SD委員会】

平成20年4月にSD活動の運営及び今後のあるべき方向を検討するため設置。委員は、事務管理部長及び学長が指名する者若干名で構成。（令和3年度は5人）

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会：令和2年度の開催は3回。（7月、9月、11月に開催）

SD委員会：令和2年度の開催は2回。（7月に書面審議、8月にメール審議）

###### c 委員会の審議事項等

FD委員会

- ・FD推進のための企画及び実施に関すること。
- ・FDに関する報告等に関すること。
- ・その他FDの推進に関すること。

SD委員会

- ・SD推進のための企画及び実施に関すること。
- ・SDに関する報告等に関すること。
- ・その他SDの推進に関すること。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

FD委員会

- ・全学教職員FD研修会
- ・公開授業
- ・授業について話し合う会

SD委員会

- ・全学教職員研修会
- ・ビジネスマナー研修会
- ・情報スキルアップ研修会
- ・海外研修

###### b 実施方法

FD関係

- ・「全学教職員FD研修会」は、教育職員、事務職員全員出席の研修で、主に授業改善に資するため、FD委

員会で毎年度様々な分野から外部講師を選定し講演を実施。

- ・「公開授業」は、FD委員会において対象授業を選定、希望教員は自由に見学することができ、見学後に感想を提出。
- ・「授業について話し合う会」は、学生FD委員が中心となり、毎年度授業に関して学生からの問題点、疑問、改善とすべきテーマの提示があり、教員と学生がグループに分かれてテーマについて話し合いを行う。

#### SD関係

SDは、SD委員会が企画・実施に係る事項を審議のうえ、年次計画表、研修実施要領等を学長決裁により実施している。

- ・「全学教職員研修会」は、正規又は非正規を問わず全教職員が出席しており、理事長を講師として教学組織と法人組織が協働して実施することもある。
- ・「ビジネスマナー研修会」と「情報スキルアップ研修会」は、令和元年度から開始しており入職5年未満の事務職員と希望者を対象に実施。
- ・「海外研修」は、平成30年度から開始しており、語学力の向上及び国際感覚をもった事務職員の養成を目的として、希望者を募り実施。

#### c 開催状況（教員の参加状況含む）

##### FD関係（令和2年度）

- ・「全学教職員FD研修会」 令和3年2月17日開催、コロナ禍のため一部の教育職員を除き遠隔配信により「授業の基本ーもっとも基本的なことー」の演題を視聴。
- ・「公開授業」 コロナ禍により実施できなかった。
- ・「授業について話し合う会」 コロナ禍により実施できなかった。

##### SD関係（令和2年度）

- ・「全学教職員研修会」 令和2年8月25日開催、コロナ禍のため事務職員と学科単位で教育職員が講義室に分かれ、遠隔配信により「中長期計画 SONODA VISION 2030」等を受講。教育職員109人中91人、事務職員94人中84人が出席、当日欠席者も後日動画により受講し、全員が受講。
- ・「ビジネスマナー研修会」、「情報スキルアップ研修会」 コロナ禍により実施できなかった。
- ・「海外研修」 コロナ禍により実施できなかった。

#### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

「全学教職員FD研修会」は、主に授業改善に繋がる演題を外部講師の講演を実施することにより、各教職員にとっての新たな気づきをもたらしている。

また、SD研修や全学教職員研修会への法人本部職員の参加は、法人と大学との協働関係の構築に向けた取組ともなっており、教職員の資質向上を図るだけでなく、法人と一体となった教職協働の大学運営の推進につながっている。

#### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

##### a 実施の有無及び実施時期

毎年度学期末に実施している。（7月、12月頃に実施。）

##### b 教員や学生への公開状況、方法等

教員及び学生に対しては、WEB画面から確認できるようになっている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

#### (3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学経営学部は、幅広い教養を身に付けたうえで、経営に関する基礎的・基盤的な素養と専門的知識を身に付けた専門的職業人を養成するため、①現代の社会経済情勢に明るく、ビジネスの要であるマネジメント（管理業務）並びにアカウンティング（会計業務）に強く、加えてグローバル化の進展に対して鋭敏な感覚を有し、ビジネス現場でのビッグデータの活用といった最近の動向に適切に対応できる情報処理能力も備えた人材、専門職業人として自立した人材を育成し、民間・公的機関を問わず社会に送り出すこと、②地域の抱える課題を理解し、改善のための調査・情報収集を実地に即して学修すること等により、マネジメント能力を向上させると同時に、地域社会の発展に寄与し得る能力を備えた人材を育成し、社会に送り出すことを目的に設置した。

設置認可後、学部新設の広報に努めたもの、結果として入学人数が定員を大きく下回っており、学部開設とともに学部の設置の趣旨・目的の周知が十分でなかったと認識している。反面、開設後1ヶ月の状況ではあるが、想定以上に少人数教育によるきめ細やかな指導ができていると考える。引き続き教育の充実に努めるとともに、コロナ禍で広報の在り方も限られるが、志願者確保につながる設置の趣旨・目的の周知に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・経営学部の自己点検については、完成年度（令和6年度）終了後すみやかに外部の委員を含めて評価委員会を組織し点検を行う。令和7年度にHPに公表し、以降毎年度自己点検を行い、評価報告書を公表する。

b 公表方法

- ・大学ホームページ上で公開

③ 認証評価を受ける計画  
（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・本学は令和3年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受審することとしており、経営学部を含めた機関別認証評価については、令和10年の評価受審後、令和11年5月1日公表予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

≪ a で「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。